

## 編 集 後 記

富山医科薬科大学二十周年記念誌の編集を終えて、今、一つの感慨を覚えています。学問上の発見や成果が、決して突然無から生じるのではなくて、その背後に伝承の歴史が繋がっていることを、記念講演によって改めて想起させられましたが、この記念誌に記録された最近10年間の本学の歩みも、将来の輝かしい成果へ必ず繋がる一こまに相違無いと思えるからであります。その意味で、これはまさに本学が路傍に遺してゆく二つ目の里程標であります。

記念誌編集委員会は、前附属図書館長の本田を委員長として発足し、編集作業を進めて参りましたが、図書館長の任期満了にともない、後任の小泉が委員長を引き継いで編集作業を行ってきました。平成7年中の刊行を目途としてきましたが、平成7年10月13日の記念式典における祝辞、記念講演、写真等も掲載することが、当初からの計画でありましたので、若干遅れました。

記念講演を始め、祝辞、随想文等をご寄稿くださった各位に厚くお礼申し上げますとともに、ご協力いただいた教職員の皆様に心より謝意を表します。本誌の編集にあたり、北川編集委員には、精読ならびに全般にわたる統一ある校正に多大のご尽力をいただきました。ここに感謝の意を表します。

平成7年12月

記念誌編集委員会

本 田 昂 (前委員長)

小 泉 保 (委員長)

記念誌編集委員会

委員長	小 泉 保	(附属図書館長)
委員	北 川 正 信	(医学部)
〃	吉 井 英 一	(薬学部)
〃	渡 邊 裕 司	(和漢薬研究所)
〃	堀 越 勇	(附属病院)
前委員長	本 田 昂	(前附属図書館長)